

press release

3-11 shinnozuka ashiya-shi Hyogo #659-0016, Japan tel +81(0)797 20 6629

web www.ashiyaschule.com email info@ashiyaschule.com

小川信治 「Behind You - 巨匠と王女たち」 Shinji Ogawa *Behind You -Great Master and Princesses* 会期 2018年9月29日(土) - 11月2日(金)

会場 ギャラリーあしやシューレ Galerie Ashiya Schule

オープニングレセプション 9月29日(土) 16:00-17:30

トークイベント「芦屋観画談」9月29日(土)17:30-18:30 対談 秋庭史典×小川信治

Galerie Ashiya Schule では、9月29日(土)から11月2日(金)まで、小川信治個展「Behind You - 巨匠と王女たち」を開催いたします。Galerie Ashiya Schule で初の個展となる本展は、2006年の国立国際美術館での個展「小川信治展―干渉する世界」から12年ぶりの関西での発表となります。

今回は、『Behind You』、『Rondo』シリーズの新作を中心に展示いたします。



マルグリット・ドートリッシュ、2018、油彩、60.0×60.0cm

小川信治は、これまでの作品において、「世界とは何か」をテーマに、個人の存在を超えた時間の積み重なり や流れをとらえるためのコンセプトや方法を模索してきました。

最初の『Without You』シリーズでは、ヨハネス・フェルメールやレオナル・ド・ダヴィンチといった西洋の名画を忠実に模写したうえで、画中の中心人物が取り除かれた画面を描き出しています。作品の主体が消去されることによって画面の空間は不安定となりながら、その空白に高密度で静謐な時間を甦らせました。その空白は単なる虚無ではなく、小川自身による精緻な静寂が描かれることで、喪失を通して時間がリアルに見えるという発見ともなったのです。『Without You』シリーズとほぼ同時期に着手された『Perfect World』シリーズは、モノクロームの古い写真や絵葉書をもとに、同じモチーフが二重化されて描き出されます。鉛筆による精細な描写と高度な技法が駆使された画面は、歴史の枠組みを超えた、非現実の世界へと人を導くのです。これらのシリーズによる考察は、『対称性/非対称性』、『連続体』シリーズへと分岐、統合しながら、『Behind You』シリーズでさらなる探求が展開されていきます。



中心が周縁に、周縁が中心に反転する『Behind You』では、元々の画面の背景が主役となって中心に配置され、 小川の想像力によって補完された世界と一体化し、別の時空へ拡張しながら円環状に閉じるという構成をとり ます。

本展では、『Behind You』シリーズから「巨匠と王女たち」をテーマとした新作を発表します。「Margaret of Austria」は、若き日のマルグリット公女の肖像画が元になっています。強い意志と気品に溢れ、幼い面影の残る公女の画面中央には、知性・謀略・知恵・野心を表す「胡桃」が描き加えられました。「エステ家の公女」には、オダマキの花や蝶に囲まれた王女に寄り添うように、謎めいた一角獣が現れます。

未知の背景を詳らかにすることで、それぞれの王女が辿った運命が複雑に組み換えられ、歴史と記憶が干渉し あいながら、小川信治の作り上げる世界は無限に増幅されていきます。

このほか、鉛筆画による『Rondo』シリーズの新作「Rondo5」をはじめ、浮世絵を元にした油彩作品も併せて発表いたします。

表象不可能な時間を多元的に解き明かす小川信治の世界を通して、「世界のありよう」を再思考する貴重な機会です。是非ご高覧ください。

トークイベント「芦屋観画談」9月29日(土)17:30-18:30 対談 秋庭史典×小川信治

秋庭史典(あきばふみのり 1966 年-) 名古屋大学大学院情報学研究科准教授。専門は美学。 著書に『あたらしい美学をつくる』(みすず書房 2011 年)、共著に『家族の肖像-レイモンド・チョーサーと三つの家族』(エリプスガイド、2006 年) などがある。



エステ家の公女と一角獣、2018、油彩、55.0×50.0cm



ロンド 5, 2017, 紙に鉛筆, 110×150cm



サクレクール1·2、2017、紙に鉛筆、75.5X66.3cm





小川信治 Shinji OGAWA

1959 年山口県生まれ

1983 年三重大学教育学部美術科卒業

1000 +=	
[主な個展	
2017年	「干渉法一鏡像とロンドによる」MAHO KUBOTA GALLERY(東京)
2016 年	「小川信治展あなた以外の世界のすべて」千葉市美術館(千葉)
	「Mirror」AISHONANZUKA(香港)
2015 年	「Secret Mirror」STANDING PINE(愛知)
2013 年	「世界線の眺望」鎌倉画廊(神奈川)
	「Projection」みうらじろうギャラリー(東京)
2011年	「Shinji Ogawa Behind You/Closed Book」Yumiko ChibaAssociates viewing room shinjuku(東京)
2008 年	「Shinji Ogawa –Realizm perwersyjny」Bunkier Sztuki(クラクフ、ポーランド)
	「SOUVENIR」コウイチ・ファインアーツ(大阪)
2007年	「French Milk Crown, 2001」ヴァイスフェルト(東京)
2006 年	「小川信治展—干渉する世界—」国立国際美術館(大阪)
2005 年	「家族の肖像-分岐する世界と統合する意識-アーティスト小川信治と 11 人の名大生によるコラボレ
	ーション」名古屋大学博物館(愛知)
2004 年	「小川信治展-春信・連続体-」コウイチ・ファインアーツ(大阪)
	「双眸」コウイチ・ファイン・アーツ(大阪)
	「ペインティングの仕事-「春信連続体」を中心として」絵馬・代官山(東京)
2003 年	「個展」ときの忘れもの(東京)
	「ゾンダー・ヤゥ」レントゲンヴェルケ(東京)
2002 年	「Souvenir/Souverain」豊田市美術館(愛知)
2001年	「双眸シリーズ」コジオ・オグラギャラリー(東京)
	「個展」ギャラリー16(京都)
	「小川信治展 二つの点」ギャラリーキャプション(岐阜)
	「佐久島 2001 祭りとアートに出会う島」
	「三河・佐久島アートプラン 21」弁天ギャラリー(愛知)
	「ゾンダー・ヤゥ」レントゲンクンストラウム(東京)
2000年	「ゾンダー・ヤゥ」レントゲンクンストラウム(東京)
	「個展」ときの忘れもの(東京)

1997年 「個展」ときの忘れもの(東京) 「個展」西田画廊(奈良) 1995年 「個展」ギャラリーセラー(愛知)

1999 年 「個展」ギャラリーキャプション(岐阜)

「個展」ギャラリーほそかわ(大阪)

現代美術館・名古屋 ヴィデオルーム(愛知)



[主なグループ展]

- 2018 年 「高松市美術館コレクション+(プラス)木村忠太とこぼれる光のなかで」高松市美術館(香川) 「視覚芸術百態:19 のテーマによる 196 の作品」国立国際美術館(大阪)
- 2017 年 「Art in Art」Museum of Contemporary Art in Krakow(クラクフ、ポーランド)
 「オープン・ウィークひらかれた美術の 9 日間」東京ステーションギャラリー(東京)
- 2016 年 「L'arte differente: MOCAK al MAXXI」MAXXI イタリア国立 21 世紀美術館(ローマ、イタリア) 「蜘蛛の糸」豊田市美術館(愛知)
 - 「高松市美術館コレクション展―いま知りたい、私たちの「現代ア―ト」」高松市美術館(香川)
- 2015 年 「高松市美術館コレクション展 2(前期)ひとのかたち―ゼロ年代以降の現代アートを中心に」 高松市美術館(香川) 「Logical Emotion: Contemporary Art from Japan」クラクフ現代美術館(MOCAK)(クラクフ、
- 2014 年 「In The Water by UnKyung Hur & Shinji Ogawa」XVA Gallery (ドバイ、アラブ首長国連邦) 「おいしいアート食と美術の出会い」横須賀美術館(神奈川) 「Currents: Japanese Contemporary Art」The James Christie Room(香港)
- 2012 年 「コレクションの誘惑」国立国際美術館(大阪)

ポーランド)

- 2011 年 「History in Art」クラクフ現代美術館(MOCAK)(クラクフ、ポーランド) 「現代絵画の展望 24 の時の瞳」東京ステーションギャラリー(東京)
- 2010 年 「150ème anniversaire de la création de《l'Angélus》」(バルビゾン村、フランス)
- 2008 年 「behind the seen アート創造の舞台裏」東京大学駒場博物館(東京) 「現代のコンフィギュレーション色さまざま形いろいろ」岡崎市美術博物館(愛知) 「ネオテニー・ジャパン高橋コレクション」(2008-10 巡回展)霧島アートの森、鹿児島(2008) 札幌芸術の森美術館(2008) / 上野の森美術館(2009) / 新潟県立近代美術館(2009) / 秋田県立近代美術館(2009) / 米子市美術館(2009) / 愛媛県美術館(2010)
- 2007年 「線の迷宮 II-鉛筆と黒鉛の旋律―」目黒区美術館(東京)
- 2006年 「縄文と現代~二つの時代をつなぐ『かたち』と『こころ』」青森県立美術館(青森)
- 2005 年 「Light Boxes Dark Rooms」Handwerker Gallery, Ithaca College、イサカ、NY 州/ほか「マックス・ヘッドルーム-頭上注意の絵画-」ヴァイスフェルト(東京)
- 2004 年 「Light Boxes Dark Rooms」DePree Art Center, Hope College (ミシガン、アメリカ合衆国)
 「Japanese Contemporary Art: Symbiosis in Art」Gallery Wooduk(ソウル、韓国)
 「開館 20 周年記念展コピーの時代ーデュシャンからウォーホル、モリムラへー」滋賀県立近代美術館(滋賀)
- 2003 年 「現代美術のポジション 2003-吹きぬける新風」名古屋市美術館(愛知)
- 2002 年 「ファン・デ・ナゴヤ美術展 2002 仲介者たち」名古屋市民ギャラリー矢田(愛知) 「20 世紀。美術は虚像を認知した-モナ・リサとモンマンとのあいだで-」平塚市美術館(神奈川)
- 2001 年 「話を作って、目を疑う/岡崎和郎初期作品とのコラボレーション」コオジ・オグラギャラリー(愛知) 「弁天奉納三人展小川信治・松岡徹・平田五郎」弁天ギャラリー(愛知)
- 2000年 「空き地」豊田市美術館(愛知)



[ワークショップ]

2011 年 「Kraków –koło czasu」クラクフ現代美術館(ポーランド)

2007年 「無限風景画 3-世界をつなぐ」目黒区美術館(東京)

2006 年 「無限風景画 2-世界をつなごう」国立国際美術館(大阪)

「無限風景画 1-を作ろう!」岡崎市美術博物館(愛知)

2003年 「家族の肖像-分岐する世界と統合する意識」名古屋大学博物館(愛知)

2001 年 「PERFECT SAKU ISLAND」弁天サロン(佐久島、愛知)

[受賞]

1990 年 東海市 ACT91ACT 大賞受賞

[コレクション]

クラクフ現代美術館(クラクフ、ポーランド)

東京ステーションギャラリー(東京)

東海市(愛知)

豊田市美術館(愛知)

岡崎市美術博物館(愛知)

滋賀県立近代美術館(滋賀)

国立国際美術館(大阪)

高松市美術館(香川)

Bunkier Sztuki (クラクフ、ポーランド)

是非、貴誌・貴社にてご紹介くださいますよう、宜しくお願いいたします。掲載用写真のご要望、ご質問がご ざいましたら、下記までお問合せください。

ギャラリーあしやシューレ 担当:高尾

〒659-0016 兵庫県芦屋市親王塚町 3-11

tel 0797-20-6629

mail info@ashiyaschule.com

website www.ashiyaschule.com

営業時間 11:00 - 17:00

定休日 日・月・祝祭日